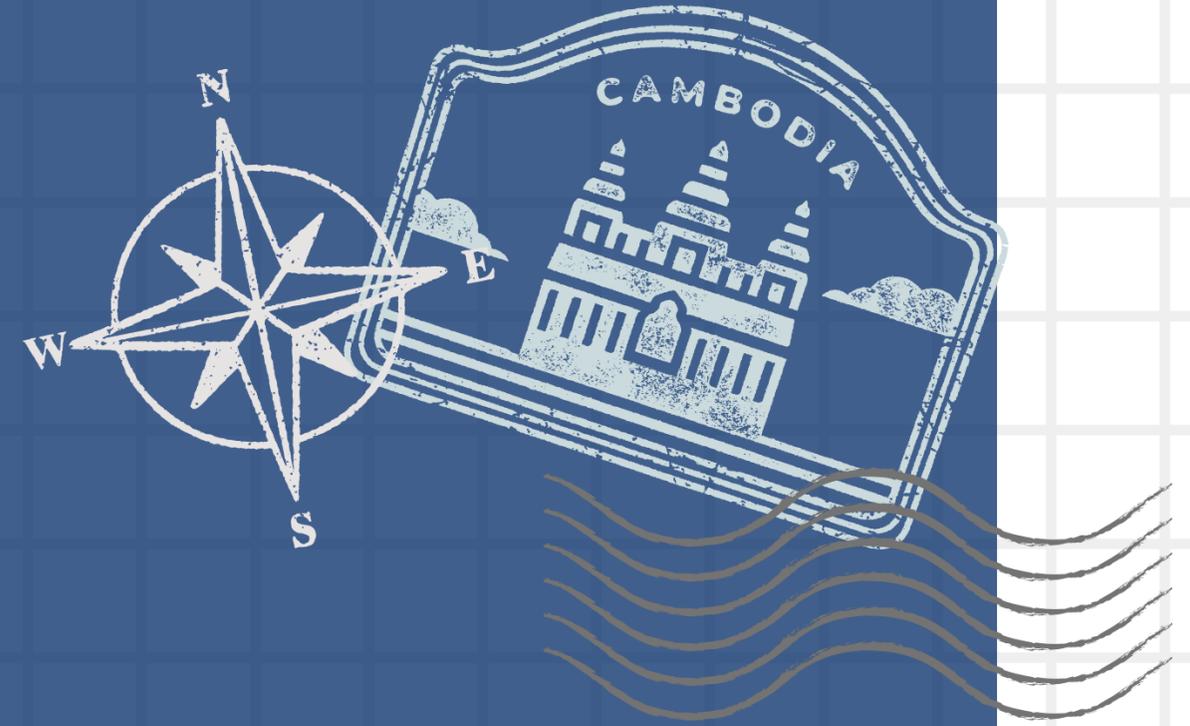


カンボジア スタディツアー を通しての学び



D類養護教育コース 2年
長谷川芽吹

目次

01. 参加した理由

02. カンボジアの生活

03. 保健指導を通して感じたこと

04. カンボジアの文化に触れて
感じたこと

05. 帰国してから・まとめ

01。

参加した理由

自分の知らない文化に触れたい！

自分の固定概念を取り払いたい！

海外の教育の実態をこの目で見てみたい！



02.

カンボジアの生活

5:00 起床、学校の準備

6:20 学校へ通学
(バイクで約5分)

6:30 国歌斉唱

6:45 朝食
(パンとコーヒー)

7:00 1時間目

9:00 2時間目
(休憩時間は先生によって違う)

11:00 授業終了、市場へ

11:40 お昼ご飯作り



02.

カンボジアの生活

12:30 昼食

14:45 学校へ通学

15:00 3時間目

17:00 授業終了

17:00~18:00 アルバイト

18:10 家でパンを焼く

19:00 夕食

20:00~21:00 姉妹に英語を教える

21:30 シャワーを浴びる

22:00 授業の復習

23:00 就寝



03。

保健指導を通して感じたこと

言語の壁を超えた
コミュニケーション

準備の大切さ

03

保健指導を通して感じたこと



言語の壁を超えたコミュニケーション

コミュニケーションは言語だけじゃない

伝わることの喜び

相手の文化を受け入れ、尊重する



03

保健指導を通して感じたこと

言語の壁を超えた
コミュニケーション

準備の大切さ

03.

保健指導を通して感じたこと



準備の大切さ

対象を捉え、実態に合わせた保健指導

反省を活かして改善を重ねる

すべてが計画通りにいくわけでは無い



04。カンボジアの文化に触れて感じたこと

将来のことを明確に
考えている

何もできない
もどかしさ

楽しそうに
働く人たち

教育の大切さ

05。帰国してから・まとめ



国籍も第一言語も違う
けれど純粹に会話を
楽しむことができた

宗教、言語、人種の壁が
あるように感じてても、
その壁は自分が勝手に
作り上げたもの

日本でも違いを
受け入れられるよ
うになった

05。帰国してから・まとめ



慣れない英語での
コミュニケーションでも
相手になんとか伝えたい
という気持ち

日本では簡単に会話
できてしまうからこそ
気持ちを汲み取ること
をおろそかにして
しまっていたことに
気が付いた

言葉だけではなく
伝えたい・知りたい
という気持ちを持ち
ながら会話をするよ
うになった

05。帰国してから・まとめ



何事にも入念な準備が
必要であること
を感じた

どんなに完璧に
準備をしても
すべてが計画通りに
いくわけでは無い
でも、準備した時間は
無駄ではない

問題が起きたときに
ただ落ち込む
ただ大丈夫だと
決めつけるのではなく
自分に何ができるのか
考えるようになった

05。帰国してから・まとめ

カンボジアでの9日間は、私にとってすべてが刺激で、
たくさんの学びと発見を得ることができました。
こんな貴重な経験を頂けたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

これからは、

**一人一人の違いを尊重し、
相手との関わりを大切にしながら
自分のできることを常に模索し続けていきたい**
と思っています。



THANK YOU FOR
LISTENING

